

7月28日神戸新聞朝刊には運動面、北播版、そして広報版の3カ所にわたり記事が掲載されていました。挑戦10度目で初の決勝進出という文言に「悲願」という言葉が浮かびます。いよいよこの舞台にたどり着きました。選手たちには決勝の舞台を楽しんでもらえればと思いつつながら新聞の記事に目を通しました。

そして迎えた決勝。準決勝より気温は高く、選手の体調面が心配されました。2時間前には開門し、応援団も入場。12時くらいから選手たちの練習が開始。今回は新型コロナ感染防止対策で応援バス等を自粛していたのですが、在校生も多く駆けつけてきてくれました。また地域の方々や同窓会、野球部OB会他、本当に多くの方々が応援に駆けつけていただき、13時05分プレーボール。先発は堀田投手。無難な立ち上

がりで落ち着いて試合に入ることができているようでした。2回の表の攻撃で芝本選手の長打で先制。幸先の良いスタートでしたが、3回の裏に中途半端なフライを譲り合ったところから本校にとってピンチになり、失策も響いて2点を

取られ逆転されました。しかしながら本校も5回表、数少ないチャンスに後藤選手の放った打球はレフト前へ。これを後ろにそらす間に1塁からランナーが帰り同点。振り出しに戻りました。その後相手ピッチャーが変わり、なかなかヒットも出ず押さえ込まれており、重苦しい展開でしたが、随所に好プレーが出て、同点のまま9回が終了。延長に入りました。延長に入っても相手ピッチャーに抑えられチャンスができないまま、12回も終了し、13回からのタイブレークに入りました。ノーアウトランナー1.2塁から始まります。本校が勝機を見いだせるとしたらこのチャンスしかなかったので、5回以降本当によく辛抱しました。芝本投手に変わった9回裏には2塁ランナーを牽制で刺すなど守備の社を見せつけ、12回裏にはランナーがいる状態で1塁強襲の打球が勝股選手を襲い、はじいたのですが、芝本選手が全力のフォロー。審判の手が上がり、サヨナラ負けを防ぎました。13回にはチャンスから代打谷口選手がヒットを放ち、1点を取りました。その裏の攻撃でもピンチは続きましたが相手の攻撃を1点に抑え、14回に入ると、送りバントからランナー2.3塁で福谷選手がライト前ヒットで2点を取り、さらに七條選手のヒットで2.3塁のチャンス。その際に福谷選手の足がつり、タイムをかけたところ、神戸国際大附属高校の3塁手が足を伸ばしてくれ、手を差し伸べてくれました。素晴らしい光景を見させてもらいました。その後勝股選手のタイムリーで合計3点を取り、14回裏の神戸国際大附属高校の攻撃へ。四球でノーアウト満塁のピンチです。続くバッターの打った打球はサードへのライナー。これを岡本選手が見事にキャッチ。そして飛び出したランナーを見てベースにタッチ判定はアウト。2アウトになり、あと一人となりました。最後のバッターはセカ

ンドへのフライ。後藤主将がグラブに収め、ゲームセット。歓喜の輪が広がります。ピッチャーマウンドにベンチの選手含めて全員が集結。今年の秋に引き続いて2

度目ですが、今回は甲子園がすぐ決まる場面でしたので喜びを爆発させていました。「甲子園出場おめでとう！！」横にいた、顧問の高橋先生、体育科の平野先生、山田先生、校務員の荻野さんと固い握手を交わして喜びを分かち合っていると、涙が自然とこぼれてきました。本当に良かった。その後山本監督のインタビュー。



周りの関係者への感謝の気持ちと自身の思いが詰まった素晴らしいインタビューでした。後藤主将にもインタビューがあり、チームのまとまりをアピール。感動を与えてくれました。そして表彰式。表彰状を笠井選手、優勝旗を後藤主将、朝日新聞社楯を岡本選手、兵庫県高校野球連盟楯を芝本選手、兵庫県教育委員会優勝カップを福谷選手、優勝メダルを堀田選手がそれぞれいただきました。その後、場内を行進。多くの観客に見守られながら堂々と行進する選手を見て、感極まりました。とうとうやりました……。



その後選手たちが出てくるまでの間の長かったこと(実際にはそれほどでもなかった)、保護者の方々への優勝報告と全員で記念撮影。全員の晴れやかな顔が印象的でした。

そして学校に戻り、選手たちを出迎えようと寮生、職員が待っているところ19時30分頃歓声の中を帰校。後藤主将の挨拶があり、高原先生が選手を集めて話をされ解散。



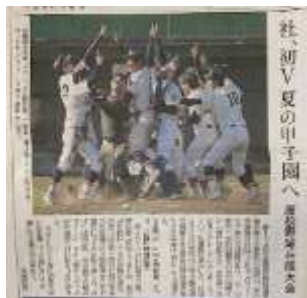
長い長い1日が終わりました。選手の皆さん、部の顧問の先生方、本当にお疲れ様でした。そして感動をありがとうございました！多くの関係者の皆さんの思いを一つにした試合でした。関係者の皆さん本当にありがとうございました。そしてお疲れ様でした。持って帰ってきた優勝旗などを校長室に昨年秋の大会の優勝旗と共に並べて飾りました。校長室にお立ち寄りの際はのぞきにきてください。写真撮影もOKです。またここから次に向けた準備が始まります。本番に向けしっかりと調整し、野球を全国の方々に見ていただけるよう頑張ってください。

18年ぶりの甲子園出場。選抜大会とは応援態勢も準備期間が違い、短い期間でご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご協力をお願い申し上げます。

8月1日には全校生に集まってもらって、壮行会をリモートで行う予定です。その際には、応援についての説明もします。初めての夏の甲子園をしっかりと盛り上げていきましょう。よろしくお祈りします。同時に感染防止対策も一人ひとりがしっかりと責任を持って行い、感染しない、広げない、持ち込まないことをやっていきましょう。



神戸新聞4写真



読売新聞2写真



朝日新聞3写真





毎日新聞 1 写真



産経新聞 1 写真



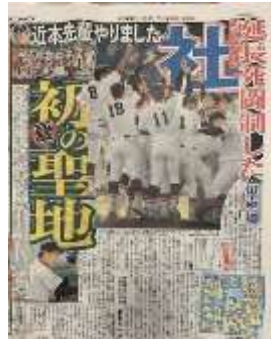
デイリースポーツ 1 写真



スポーツ報知 1 写真



日刊スポーツ 1 写真



スポニチ 1 写真



サンスポ 1 写真

翌日の新聞を集めてみると以上のようなことでかなりの注目が集まったように思います。各紙それぞれ着目点を見つけ取材をされた内容で掲載されていました。ありがとうございました。

右は当日発行された神戸新聞、朝日新聞、読売新聞の号外です。



左から神戸新聞、朝日新聞、読売新聞の号外